

平成25年10月8日

「理研ブランドの清酒『^{にしなほまれ}仁科誉』普及ミーティング in 武蔵野銀行和光支店」の開催について

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）では、県産品のブランド化や普及促進を支援するため、「理研ブランドの清酒『仁科誉』普及ミーティング in 武蔵野銀行和光支店」を開催しますので、お知らせいたします。

当行では、今後とも地域の皆さまの期待にお応えし、埼玉に新たな価値を創造する「地域No.1銀行」を目指してまいります。

1. 『仁科誉』（にしなほまれ）について

- (1) 独立行政法人理化学研究所（和光市）が埼玉県産業技術総合センター北部研究所（熊谷市）と共同で、重イオンビームによる変異誘発技術を用いて吟醸酒用の新しい酵母の開発に成功。
- (2) 埼玉県産業技術総合センターから県内酒蔵に新酵母を頒布し、平成23年11月より県内3か所の酒造会社（※）が統一ブランドで商品化した。
※丸山酒造（深谷市）、鈴木酒造（さいたま市岩槻区）、小江戸鏡山酒造（川越市）
- (3) ブランド名は、日本の原子核物理学の父と呼ばれる仁科芳雄博士（1890～1951年）にちなみ、『仁科誉』と命名されたもので、吟醸酒の香りの主成分が多い華やかな香りで、酸度の小さい軽快な味が特長。

2. 「理研ブランドの清酒『仁科誉』普及イベント in 武蔵野銀行和光支店」について

- (1) 開催経緯
 - ・埼玉県は、日本酒の出荷量・消費量ともに全国第4位であり、さらなる普及促進支援を検討。
 - ・埼玉で誕生したユニークな日本酒『仁科誉』について、理化学研究所の地元である和光市から普及活動を応援するものです。
- (2) 内容

日 時	平成25年10月21日（月） 16:00～17:00
会 場	武蔵野銀行和光支店 2階会議室 和光市下新倉1-1-1（和光市駅北口駅前） (048) 462-8451
ご来場者	和光市駅周辺の商業者（主に小売・飲食）、一般消費者（主に女性・若者）
次 第	商品説明（開発経緯、特長）、試供品提供、開発者・酒造会社との交流
開催機関	当行（事務局）、理化学研究所、埼玉県産業技術総合センター

以上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 地域価値創造室 深野、郷
TEL (048) 641-6111（代） 内線 2558, 2559

